



ごあいさつ

農林水産省 東北農政局 局長 菅家 秀人

日ごろから建設業関係者の皆さま方には、農林水産行政とりわけ農業農村整備事業の推進に多大なるご理解とご協力をたまわるとともに、農業と農村の持続的発展にご貢献いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

はじめに、本年1月の能登半島地震や全国各地での台風、線状降水帯による豪雨災害などにより、亡くなられた方々に哀悼の誠(まこと)を捧げるとともに、被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げます。

そして、被災地の復旧・復興にご尽力いただいております建設業関係者の皆さま方に重ねて御礼申し上げます。

東北農政局としても、被災された方々の一日でも早い生業再建に向けた取り組みを進めてまいります。

さて、去る5月29日、先の通常国会においては、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における農業生産の維持・発展と地域コミュニティの維持」の実現を目指し、食料・農業・農村基本法が改正されたところでした。

今後、政府として、本改正基本法に示された施策の方向に即して、新たな基本法に基づく食料・農業・農村基本計画を策定し、施策の具体化を着実に進めてまいります。

この改正基本法および関連法を踏まえ、農業の持続的な発展の観点から、スマート技術等の導入に向け、ほ場の大区画化を進めるとともに、近年の顕発化・激甚化する豪雨や大地震の発生に備え、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、ため池の防災工事を継続して進めることとしています。さらには、人口減少下における農業用インフラの保全管理の在り方を検討し、2025年中に土地改良法の見直し法案を国会に提出する予定です。

また、持続可能な食料システムの確立のため、環境への負荷を低減し、生産の持続性を高める必要があることから、みどりの食料システム法に基づく生産者・事業者の認定、化学肥料・化学農薬の低減や有機農業の拡大、補助金におけるクロスコンプライアンスの導入等、「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた施策を着実に実施してまいります。

本年度、東北農政局管内において実施中の国営事業は25地区を数え、7地方農政局の中で最も多くの事業を実施しています。いずれの地区も地域農業の発展と災害にも強い強靱な農村づくりにかかせない事業です。今後とも、地域の方々とお話を続けながら、新たな時代に対応できる農業生産基盤の整備と、人々が安全・安心に暮らせる農村づくりを計画的に推進していく考えです。

建設業界では、担い手確保のための働き方改革として、建設現場の環境整備の推進、ICTをはじめとした新技術の導入等を積極的に推進されており、また、本年4月から時間外労働の上限規制が適用されました。東北農政局としては、工事の早期発注や余裕期間の設定等による適正な工期確保などの取り組みを推進しつつ、皆さま方とともに東北地方の農業・農村を支える社会資本と地域資源の維持・発展に向けて取り組んでまいりますので、今後ともよろしく御礼申し上げます。

東北農政局主要事業特集

東北農政局 萩野 憲一 農村振興部長に聞く

持てる技術力を結集し、戦略的な施設更新を推進



田沢二期地区

秋田県南部に位置する田沢二期地区は、大仙市、仙北市および美郷町にまたがる受益面積4,697haの水田地帯である。総事業費は192億円、工期は2011年度から24年度で、主要工事は、頭首工1カ所、取水口2カ所、用水路53.8kmの改修だ。

抱返頭首工は、秋田県下有数の景勝地である抱返り渓谷の中ほど、田沢湖抱返り県立自然公園の険しい渓谷に位置している。頭首工付近も両岸断崖で狭い現場環境となっており、通常では遊歩道しかアプローチ手段がない。また、工事はかんがい期および洪水期を避けた10月～3月に限定され、さらに豪雪地帯で春先には融雪水による河川の増水があるため、効率的な施工と安全対策を講ずる必要があった。

このため、東北農政局初のECI方式を活用し工事を実施。具体的には、頭首工からの取水トンネルおよび開水路を仮設道路として位置付け、レールを敷き、分解したクレーン重機などを牽引台車で

運搬し、現場で組み立てるという作業を行った。また、河川水位警報設備の設置などの安全対策を図りながら完成させた。工事期間中は、降雨の影響によ

り玉川の水位が上昇し、仮設設備が被災を受けるなど、たびたび工事の中断を余儀なくされる難工事であった。景観に配慮しつつ、厳しい条件の中で頭首

工を更新。最終年度である本年度は左岸幹線用水路の補修工事などを行い事業が完了する。

抱返頭首工の改修



▲改修前



▲改修後(固定堰の補修、取水口の耐震補強、ゲートの更新など)



▲取水トンネル内を自走する重機械



▲軌陸車と牽引台車



▲水路内への機材の運搬に利用する昇降架台

水管理施設の改修



▲改修後

用水路の改修



▲田沢疏水左岸幹線用水路



▲第二田沢幹線用水路杉沢トンネル



▲第二田沢幹線用水路北沢サイホン

神代右岸取水口の改修



▲改修前



▲改修後(防塵機の更新、係船設備の設置など)

第二田沢取水口の改修



▲改修前



▲改修後(機械設備、操作室の更新など)

和賀中央地区

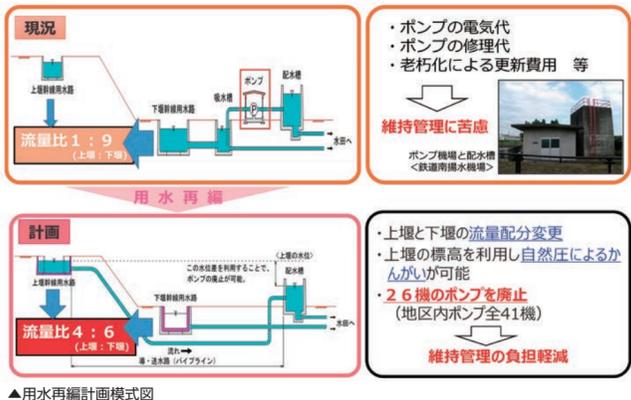
岩手県内陸部のほぼ中央に位置する和賀中央地区は、花巻市および北上市にまたがる受益面積3,598haの水田地帯である。2013年度から事業着手し、現時点での総事業費は313億円。主要工事は石羽根取水口の改築、幹線用水路・支線用水路の改築、導水路・送水路の新設、放水路の改築、水管理施設・小水力発電施設の新設である。

石羽根ダムから取水している上堰幹線用水路と下堰幹線用水路は平行して走っており、配水比率が1:9となっているが、事業実施に当たっては、単純な更新ではなく、ゼロベースで見直し、エネルギー効率を非常に重視した計画を立案した。具体的には、下堰幹線用水

路より上堰幹線用水路の方が高い位置にあることから高低差を利用するため、流量比率を1:9から4:6に変更。ポンプ圧送エリアを自然圧での送水エリアに変更する用水再編を行うことで、地区内にある揚水機41機のうち26機を廃止する。電気使用料や補修費などは、これまでの約半分になると見込んでおり、維持管理費の負担軽減を図る。また、石羽根取水口への合口による石羽根ダム貯水位と、下堰幹線用水路との落差を利用した小水力発電施設を整備した。地区内の揚水機廃止に伴う排出CO₂の削減量は、小水力発電施設と合わせると676t-CO₂/年であり、約400世帯の年間消費電力量に相当する。単純に水路を更新するのではなく、再生可能エネルギーを使い、配水ポン

プを減らすことで、非常に地球環境に優しい事業となっている。事業の進捗率は13年度までで87.6%。本年度は下堰

幹線用水路や村崎野幹線用水路などの改修工事を行っている。



農業生産性の向上と農業経営の安定のため尽力いたします。

まじめに、まっすぐ
KONOIKE
株式会社 鴻池組 東北支店
執行役員支店長 石村 彰生
仙台市青葉区中央2-9-27
TEL.022(266)1275 FAX.022(281)8661

大成建設株式会社
TAISEI
For a Lively World
常務執行役員東北支店長 西岡 巖
仙台市青葉区一番町3-1-1 TEL.022(225)7748

人と地球の架け橋に
竹中土木
執行役員東北支店長 坂本 欽司
仙台市青葉区国分町3丁目4-33
TEL.022(221)7681

徳倉建設株式会社
TOKURA
東北支店
支店長 荒川 精一郎
〒980-0803 仙台市青葉区国分町一丁目8-14
TEL.022(265)7156 FAX.022(224)3719

HOKUYO
株式会社 北陽
東北支店
支店長 鷲谷 秀隆
〒980-0803
仙台市青葉区国分町3丁目11-9 アルファオフィビル605号
TEL.022(217)5586 FAX.022(721)5130

総合建設
— 挑戦と信頼で社会に貢献する —
株式会社 江良組
代表取締役 江良 昭次
〒038-3272 青森県つがる市木造兼立田101
TEL.0173(46)3006 FAX.0173(46)2296
E-mail honsha@eragumi.com
URL:https://eragumi.com/

株式会社 佐藤建設
代表取締役社長 佐藤 孝司
本社/岩手県岩手郡岩手町沼宮内9-11-3
TEL.0195(62)2305 FAX.0195(62)3059
https://satou-kensetsu.co.jp
滝沢出張所/岩手県滝沢市中村55-5
TEL.019(658)8303 FAX.019(658)8305

人と地球の限りない未来へ
トンネル工事・土木工事一式
梨子建設株式会社
NASHIKENSETU
代表取締役 梨子 洋和
本社/岩手県盛岡市高松4丁目20-20
TEL.019(661)2411 FAX.019(661)1231
https://nashi-const.jp



▲和賀中央発電所



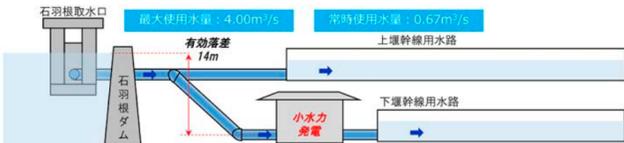
▲石羽根取水口



▲中央幹線放水路



▲上堰幹線用水路



▲和賀中央地区 小水力発電施設 (和賀中央発電所)

山王海葛丸地区

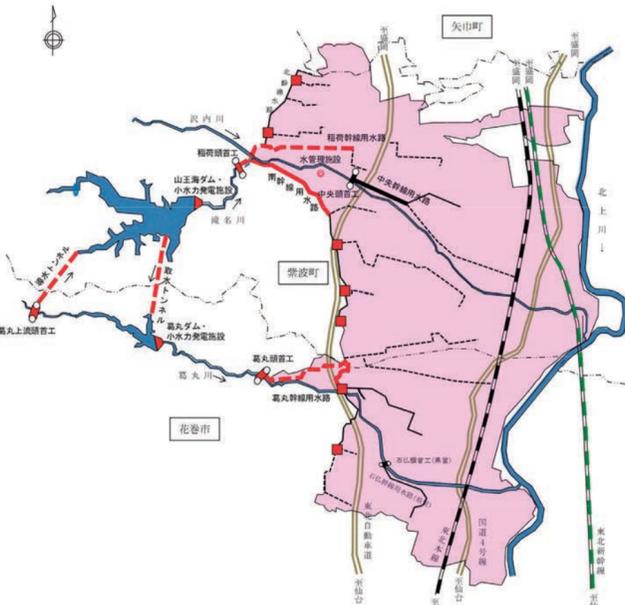
岩手県のほぼ中央部に位置する山王海葛丸地区は、花巻市、紫波町および矢巾町にまたがる受益面積3,787haの水田地帯である。総事業費は135億円、本年度から事業着手し、2033年度完了を予定している。主要工事は、ダム2カ所、頭首工3カ所、用水路9.7kmおよび水管理施設一式の改修、小水力発電施設2カ所の新設である。

山王海ダムは、戦後まもなくフィルダムとして建設され、その後の国営事業により高上げされ貯水量が約4倍となっている。山王海ダムは葛丸ダムとトンネルで結び、水の行き来を可能にしている全

国的にも珍しい「親子ダム」の水利システムを構築しており、画期的な水源開発も行われている。

今回の同地区の事業は、気候変動、水利用の多様化などを踏まえ計画を立案。老朽化したダムなどの基幹水利施設の改修にとどまらず、両ダム地点に小水力発電施設を新設し、さらに親子ダムの特性を活かして洪水調節機能強化に向けた施設整備やダム運用の見直しも行う計画であり、農業用水の安定供給、施設の維持管理費の軽減を図るとともに、グリーン社会の実現や流域治水の推進にも貢献する。

本年度は、用水路の補修を実施し、来年度から山王海ダムの小水力発電施設に着手する。

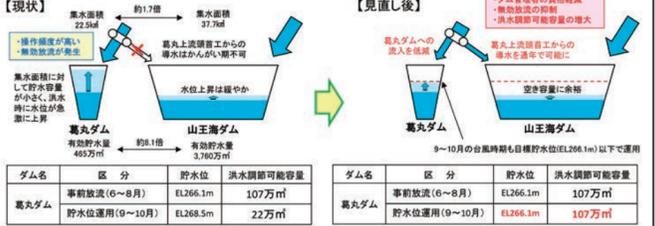


▲山王海葛丸地区 事業概要図



▲山王海ダム (写真左) と葛丸ダム (写真右)

＜ダムの運用見直しイメージ＞



▲ダムの運用見直しイメージ

建設業界に望むこと

われわれ公共事業を担当する者にとって、建設業者は大切なパートナーであり、持続可能であって欲しい。われわれとしても若手技術者が安心して働ける工事環境を整えるため、4週8休を実現できるよう早期発注、余裕期間を設定するなど、無理のない適切な工期設定、経費の見直しに取り組み、農業農村整備事業における働き方改革を進めており、各種の取り組みに応えられるよう努

めていく。都市部よりも早いスピードで人口減少が進む農村部において、建設業者は地域づくりにとっても重要な担い手だと認識している。農林水産省では、地域共同活動として、多面的機能支払交付金などにより水路、農道の維持補修や草刈りなどを行っているが、建設業者の方にも積極的に参加していただき、ともに美しい農村風景を守るため、協力しながら取り組んでいけたらと考えている。

Table with 3 columns: Project Name, Period, and Details. Includes '国営山王海葛丸農業水利事業' and '国営和賀中央農業水利事業'.

現場ルポ 浅瀬石川二期農業水利事業 中泉幹線排水路(その3)工事

厳冬のなか無事故・無災害で早期竣工に挑む

本工事は、国営浅瀬石川土地改良事業(1975～94年度)、県営浅瀬石川下流地区用水障害対策事業(1966～71年度)等により造成された施設が、経年的な劣化により農業用水の安定供給及び排水機能の維持に支障を来すとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要することから、老朽化が進行している施設の改修や耐震化対策として幹線排水路(施工延

長L=370.1m・コンクリート矢板と笠コンクリート造による排水路)等を整備し、排水機能の維持を目的とする事業です。中泉幹線排水路(その3)工事の施工場所は、青森県南西部の津軽地方に位置し、厳冬期は強風が吹き荒れ10m先も見えない地吹雪地帯であることから、気象リスク管理モバイルを用い現場天候の変化をピンポイントで予測を行い、危険領域侵入警告システムを導入し接触事故防止に努めています。今後、ますます気象条件の悪い中での作業が続きますが、災害防止活動に努め職員・協力業者一丸となって無事故・無災害での工事完成を目指します。



アイサワ工業 所長 安原 由貴

Advertisement for Aisawa Industry Co., Ltd. featuring the slogan '未来へ続く街づくり' and contact information for the Tohoku branch.

現場ルポ 八郎湯農業水利事業 F2幹線用水路(その2)工事

ICT活用で高精度施工。GNSSで冬期交通の安全確保

八郎湯地区は、秋田県の西部ほぼ中央部の南秋田郡大湯村に位置する11,733haの農業地帯で、農業水利施設は、国営八郎湯干拓事業(1957～76年度)等により整備されました。しかし、経年的な施設の劣化を踏まえ、本事業では幹線用水路の改修を行うことにより、農業用水の安定供給、排水機能の維持や水質保全機能の増進を図るものです。



本工事は、国営八郎湯土地改良事業計画に基づき、既設の開水路[コルゲートフリューム(B4,100×H1,400、延長=594.1m)]を撤去し、強化プラスチック複合管布設工(FRPM管φ1,500mm、延長=598.62m)により、F2幹線用水路を改修します。

を活用した建設機械(バックホウ)を使用し、掘削床付・盛土管理により工事の効率化・精度向上を図っています。施工時期が10月～2月となり、冬期間は寒風山より吹き降ろす強風が広大な水田地帯を吹き抜けるため、強風による作業中止基準を遵守する安全対策が重要となります。このため、GNSSによる車両運行管理システムで、冬期の視程障害発生時の工事車両や第三者車両の安全確保を行い、地吹雪・降雪時の交通事故発生リスクを低減します。

Advertisement for Maruei Co., Ltd. featuring the slogan '信託のある公的歩掛りを有する! リフトローラー工法' and contact information.

Advertisement for Daiho Construction Co., Ltd. featuring the slogan 'お気軽にお問い合わせください!' and contact information.

現場ルポ 岩手山麓農業水利事業 導水路撤去(その1)工事

鉄道管理者等と綿密な打ち合わせ、無事故・無災害での完成へ

本工事は、岩手山麓土地改良事業計画に基づき、導水路の撤去を行う工事です。導水路は、岩手山麓地区の農業水利施設の一部として整備され、滝沢市大崎地区では高さを維持するために盛土形状で施工されました。また、IGRいわて銀河鉄道には鉄道横断水路橋が架けられています。

水路橋撤去は、列車運行安全確保のため、列車運行終了後の夜間作業となります。ひとたび営業線上でトラブルが起きたら鉄道を利用する一般の方にも多大な影響が及ぶため、IGRいわて銀河鉄道と綿密な打合せを実施するとともに、営業線近接工事の保安要項を遵守し、未然にトラブル等を防ぎ、工事を進めていきます。

完成から60年近く経過し、施設の機能低下が著しいほか、漏水による住宅地やIGRいわて銀河鉄道への被害発生が懸念されるため、本工事は導水路撤去(延長589m)、鉄道横断水路橋撤去(延長61m)を行います。

現在は導水路撤去が完了し、水路橋の側部撤去作業を行っています。今後、水路橋中央部の一括撤去作業に向けて、発注者およびIGRいわて銀河鉄道と連絡調整を密に行いつつ、職員・協力会社一丸となって無事故・無災害での工事完成を目指します。



▲水路橋側部撤去状況

Advertisement for Nishimatsu Construction Co., Ltd. celebrating their 150th Anniversary and featuring contact information for the North Japan branch.

現場ルポ 岩手山麓農業水利事業 導水路撤去(その1)工事

水路橋撤去は、列車運行安全確保のため、列車運行終了後の夜間作業となります。

本工事は、岩手山麓土地改良事業計画に基づき、既設の開水路[コルゲートフリューム(B4,100×H1,400、延長=594.1m)]を撤去し、強化プラスチック複合管布設工(FRPM管φ1,500mm、延長=598.62m)により、F2幹線用水路を改修します。

本工事は、岩手山麓土地改良事業計画に基づき、既設の開水路[コルゲートフリューム(B4,100×H1,400、延長=594.1m)]を撤去し、強化プラスチック複合管布設工(FRPM管φ1,500mm、延長=598.62m)により、F2幹線用水路を改修します。

本工事は、岩手山麓土地改良事業計画に基づき、既設の開水路[コルゲートフリューム(B4,100×H1,400、延長=594.1m)]を撤去し、強化プラスチック複合管布設工(FRPM管φ1,500mm、延長=598.62m)により、F2幹線用水路を改修します。

本工事は、岩手山麓土地改良事業計画に基づき、既設の開水路[コルゲートフリューム(B4,100×H1,400、延長=594.1m)]を撤去し、強化プラスチック複合管布設工(FRPM管φ1,500mm、延長=598.62m)により、F2幹線用水路を改修します。



▲施工状況

Advertisement for Daiho Construction Co., Ltd. featuring the slogan '大豊建設株式会社' and contact information for the Tohoku branch.